

セットアップガイド

販売店様・特約店様用

お客様へ

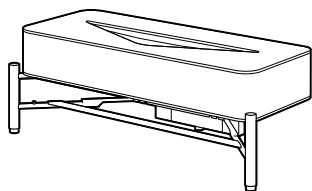
本機の設置には、確実な作業が必要になります。
必ず、販売店や工事店に依頼して、安全性に充分
考慮して確実な設置を行ってください。

この説明書は日本向けです。
This manual is for use in Japan only.
Ce manuel est destiné à être utilisé au Japon uniquement.

ビデオプロジェクター LSPX-A1

内容品一覧

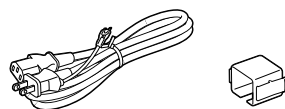
ビデオプロジェクター
(プロジェクター) (1)



棚板 (1)



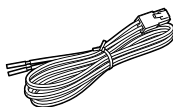
電源コード (1) / プラグホルダー (1)



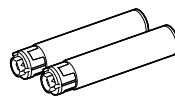
サブウーファー (1)



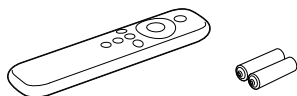
サブウーファー用ケーブル (1)



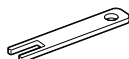
ツイーター (2)



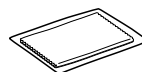
リモコン (1) / 単4形乾電池 (2)



脚部調整工具 (1)



クリーニングクロス (1)



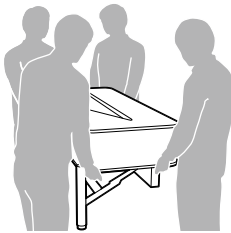
販売店様・特約店様へ

設置の際には本書をよくご覧のうえ、設置を行ってください。取り付け不備や、お取り扱い不備による事故、損傷については、当社では責任を負いません。なお、本書は、設置作業後にお客様に渡してください。



設置時には特に以下にご注意ください。

- ❗ 丁寧にお取扱ください。特にツイーター部分は壊れやすいため、ご注意ください。
- ❗ 本体を持ち上げるときは、必ず**4人以上**で、**底面の持ち手部分**を両手でしっかりと持って持ち上げてください。



- ❗ 本体を移動するときは、床を引きずらないでください。
- ❗ 本体を移動するときは、ケーブル類を踏んだり足に引っ掛けたりしないよう、ご注意ください。
- ❗ 本体やサブウーファーでケーブル類を踏まないよう、ご注意ください。
- ❗ メッシュカバーやスタンドカバーでケーブル類を挟み込まないよう、ご注意ください。

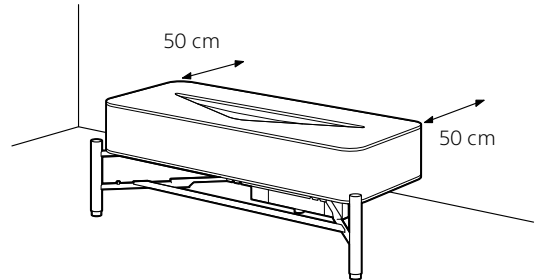
ご注意

本書のイラストの画面縮尺は説明上のイメージです。正確な縮尺ではありません。

1 本体を仮配置する

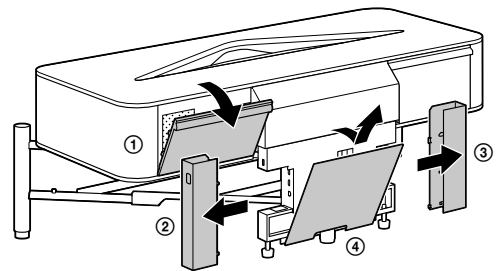
映像を投写する壁の近くに、本体を仮配置する。

このあとケーブル類の接続を行うため、本体と壁の間は50 cm程度空けてください。



2 背面のカバーを外す

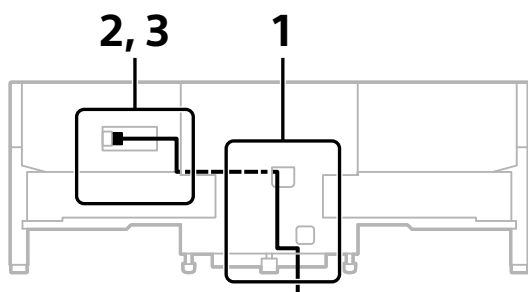
背面のメッシュカバーおよびスタンドカバー3つを、①～④の順番で取り外す。



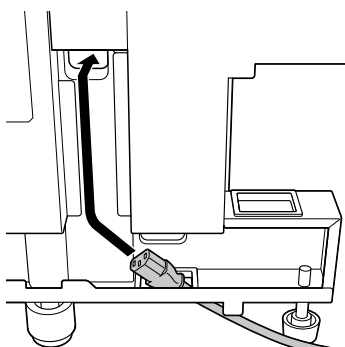
ご注意

中央のスタンドカバー(④)は手前に倒しすぎると内側のツメが破損することがありますのでご注意ください。

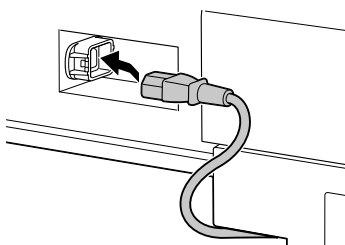
3 電源コードを接続する



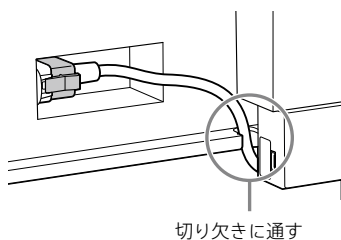
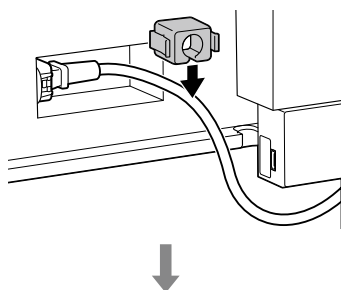
- 1 電源コード(付属)を下図のようにリアスタンドの2か所の穴に通す。



- 2 電源コードを背面側に引き出し、AC IN電源端子に差し込む。



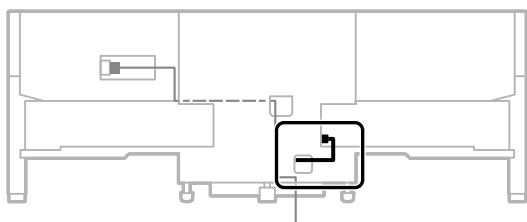
- 3 電源コード用プラグホルダー(付属)を電源コードに取り付け、スライドさせてAC IN電源端子部に固定する。



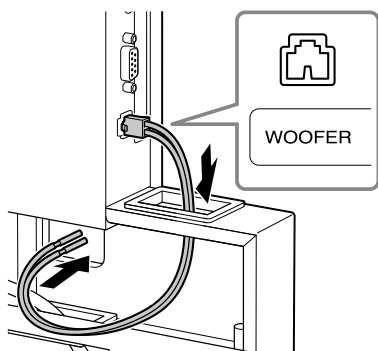
ご注意

電源プラグは、まだ壁のコンセントにはつながないでください。

4 サブウーファー用ケーブルを接続する

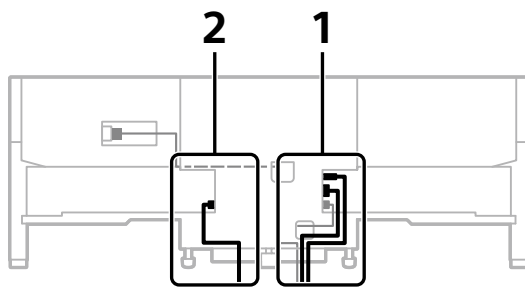


サブウーファー用ケーブル(付属)をWOOFER端子に接続し、下図のようにリアスタンド2か所の穴に通す。

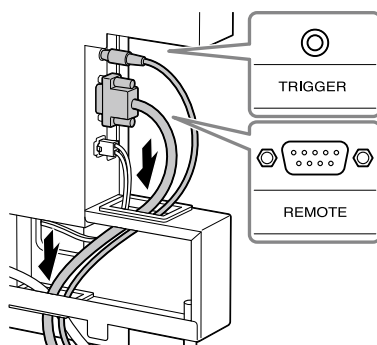


5 (必要に応じて)12Vトリガー対応の機器や制御用システム、LANケーブルを接続する

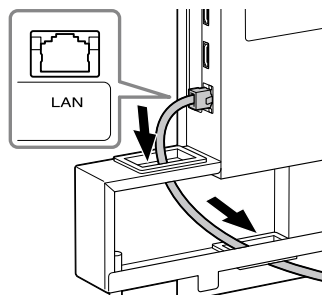
ホームシアターシステムなどを構築する場合は、システムに応じて12Vトリガー対応の機器や制御用システム、LANケーブルを接続してください。
必要ない場合は、次の手順に進んでください。



1 TRIGGER端子またはREMOTE端子にケーブルを接続し、下図のようにリアスタンド2か所の穴に通す。

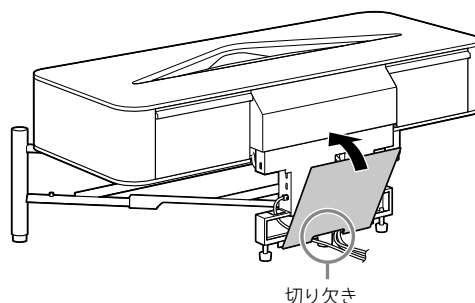


- 2** LANケーブル(別売)をLAN端子に接続し、
下図のようにリアスタンドの2か所の穴に通
す。



- 2** 中央のスタンドカバーを取り付ける。

電源コードやケーブル類は、スタンドカバー下部の
切り欠きからまとめて引き出してください。



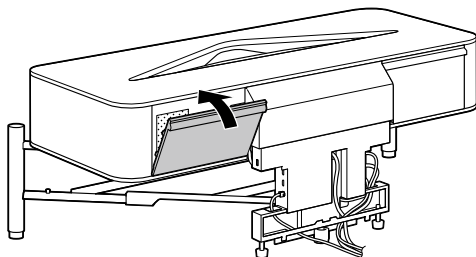
ご注意

メッシュカバーおよびスタンドカバーを取り付けるときは、ケー
ブル類を挟み込まないようにご注意ください。

6 カバーを取り付ける

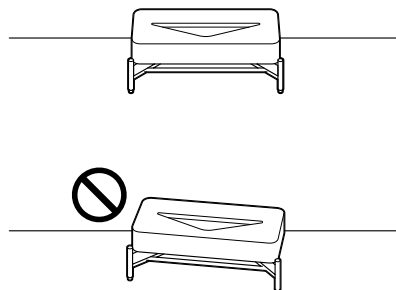
- 1** メッシュカバーを取り付ける。

電源コードを切り欠きに通してから(3ページ)、
メッシュカバーを取り付けてください。
電源コードの余長をリアスタンド側へ引き出して
メッシュカバーが膨らんだり、ずれたりしないように
調整してください。



7 投写する壁と平行に本体 を配置する

壁と平行になるように本体を配置する。



壁までの距離(投写距離)と投写される映像の大きさにつ
いて詳しくは、「設置距離と画面サイズ」(14ページ)を
ご覧ください。

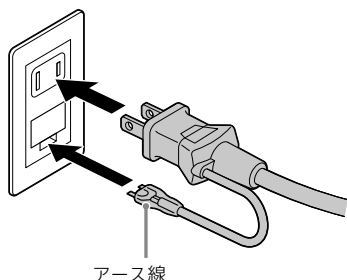
ご注意

本体を動かすときは、以下にご注意ください。

- 必ず4人以上で、底面の持ち手部分を両手でしっかりと持って
持ち上げる。
- 床を引きずらない。
- ケーブル類を踏まない。
- 本体でケーブル類を踏まない。
- ケーブル類に足を引っ掛けない。

8 電源コードをコンセントに接続する

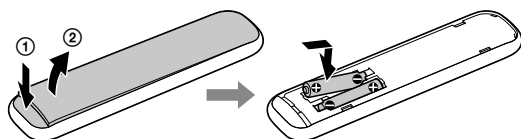
壁のコンセントにアース線を接続し、次に電源プラグを接続する。



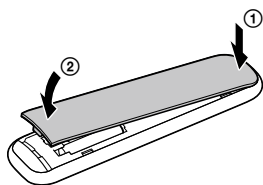
9 電源を入れる

1 リモコンに単4形乾電池2本(付属)を入れる。

リモコン裏側下部のボタンを押し込み(①)、ふたを持ち上げて取り外します(②)。単4形乾電池2本の \oplus と \ominus を確認し、正しい向きでリモコンに入れてください。



ふたを閉めるときは、ふたのツメとリモコンの上部を合わせてカチッと音がするまで押し込んだあと(①)、ふたの上部を手で押さえながら、下部を同様にリモコンに押し込んでください(②)。



2 リモコンの \odot (電源)ボタンを押して、電源を入れる。

壁に画面が投写されます。

10 表示言語を設定する

メニュー画面を表示して、画面に表示されるメニューやメッセージなどの表示言語を設定します。メニューは、リモコンのコントロールキー(上/下/左/右)で項目を選び、 \odot (決定)ボタンで確定してください。

\odot (メニュー)ボタンを押し、 Setup]
—[Language]—[日本語]を選ぶ。

画面表示が日本語に設定されます。
メニュー画面を消すには、もう一度 \odot (メニュー)を押します。

11 投写サイズを調整する

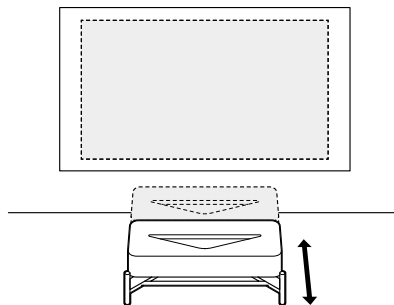
メニュー画面を表示して、画面の調整を行います。メニューは、リモコンのコントロールキー(上/下/左/右)で項目を選び、 \odot (決定)ボタンで確定してください。

1 \odot (メニュー)ボタンを押し、 [設置設定] —[レンズズーム]—を選ぶ。

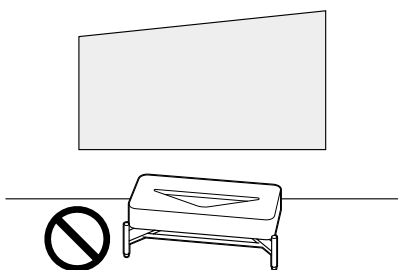
レンズズーム調整画面が表示されます。

2 画面を確認しながら本体を壁に対して前後に移動する。

画面の上辺と下辺が平行になるように、投写面に対して本体を平行に設置してください。



平行になっていないと、画面がゆがみます。



壁までの距離(投写距離)と投写される映像の大きさについて詳しくは、「設置距離と画面サイズ」(14ページ)をご覧ください。

ご注意

- 本体と壁の間には、6.1 cm以上の空間を設けてください。
- 本体の左右側面には、10 cm以上の空間を設けてください。
- 本体を動かすときは、以下にご注意ください。
 - － 必ず4人以上で、底面の持ち手部分を両手でしっかりと持って持ち上げる。
 - － 床を引きずらない。
 - － ケーブル類を踏まない。
 - － 本体でケーブル類を踏まない。
 - － ケーブル類に足を引っ掛けけない。

12 レンズフォーカスを調整する

1 レンズズーム調整画面で \oplus (決定)ボタンを押し、 \swarrow [設置設定]メニュー画面に戻す。

2 コントロールキー(上/下)を押して[レンズフォーカス]を選び、 \oplus (決定)ボタンを押して確定する。

レンズフォーカス調整画面が表示されます。

3 コントロールキー(上/下/左/右)を押して画面のピントを合わせ、 \oplus (決定)ボタンを押して確定する。

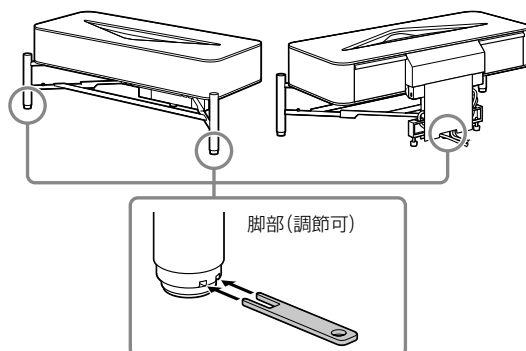
ヒント

- お買い上げ時のフォーカスは100インチに調整されています。画面サイズや設置状況により微調整してください。
- 画面全体を見ながら調整してください。超短焦点プロジェクターでは、画面上部のピントの振れ幅が大きくなります。

13 画面の傾きを調整する

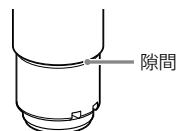
本体の高さおよび画面の傾きを調整します。

脚部調整工具(付属)を脚部の奥に当たるまでしっかりと押し込み、脚部を回して高さを調整してください。

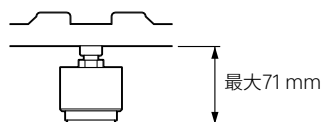


ご注意

- フロントスタンドの脚部について
フロントスタンドの脚部の高さは、脚部とフロントスタンドの間にできる隙間を目安に調整してください。図のように隙間が見えたら、これより高く脚部を伸ばさないでください。



- リアスタンドの脚部について
リアスタンドの脚部の高さの調整範囲は最大15 mmです。脚部の高さが71 mm以上になると脚が外れて機器が傾き、けがの原因となることがあります。



1 コントロールキー(上/下)を押して[レンズシフト]を選び、 \oplus (決定)ボタンを押して確定する。

レンズシフト調整画面を表示して、画面の傾きを調整します。

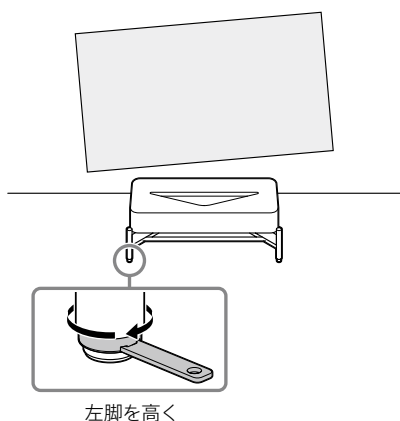
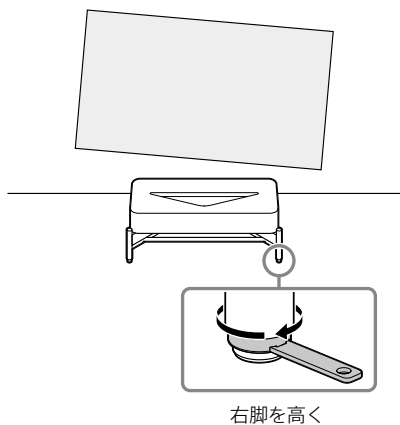
次ページへ続く →

2 脚部を回して、左右および前後の傾きを調整する。

お買い上げ時の脚部の高さは、リアスタンド側がフロントスタンド側よりも高く調整されています。フロントスタンド側2か所の高さを上げて投写画面を調整してください。

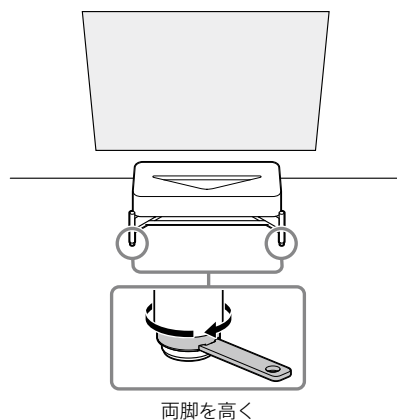
画面の下辺を水平にするには

フロントスタンドの脚部を回し、左右の傾きを調整します。

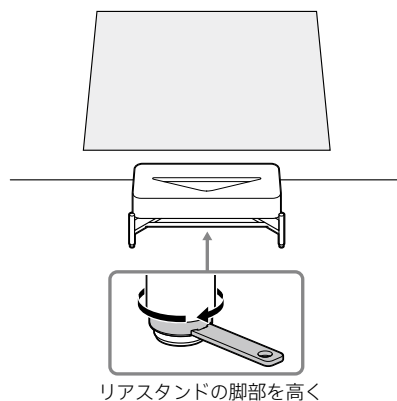


画面の左右の辺を垂直にするには

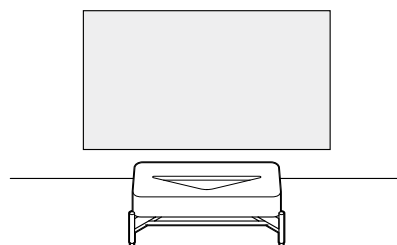
フロントスタンドの脚部を回し、前後の傾きを調整します。



投写画面が下図のような場合は、リアスタンドの脚部を回して調整してください。必要に応じて、フロントスタンドの脚部も回して傾きを微調整してください。



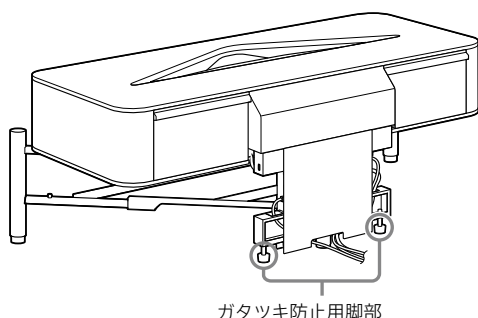
投写画面の枠が長方形で、床と並行になっていれば、調整は完了です。



3 リアスタンドのガタツキ防止用脚部(2か所)

を手で回して接地させ、固定する。

ガタツキ防止用脚部を回し過ぎないようにしてください。回し過ぎると本体の高さが変わり、画面がゆがむ恐れがあります。



ご注意

脚部およびガタツキ防止用脚部を回すときは、手を挟まないようご注意ください。

ヒント

- 脚部を1回転させると、高さが約1.25 mm 調整できます。
- ガタツキ防止用脚部は、リアスタンド底面の脚部の高さに合わせて高さを調整します。
- 画面の傾きを調整したことによりフォーカスがずれた場合は、手順12からやり直してください。

14 レンズシフト/レンズズームを調整する

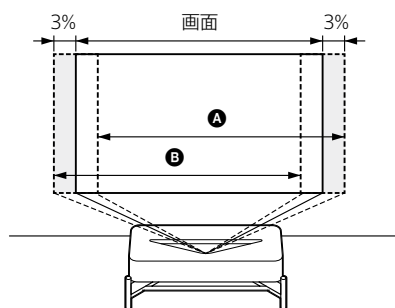
投写画面に表示されるメニューを使って調整します。

1 レンズシフト調整画面でコントロールキー(上/下/左/右)を押して画面の位置を合わせ、 \odot (決定)ボタンを押して確定する。

左右の位置を合わせるには

コントロールキー(左/右)を押すと、レンズの中心から左右それぞれに、画面幅の最大3%*分、投写画面を移動できます。

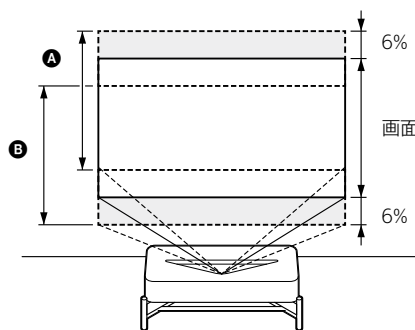
* 17:9表示時の移動範囲は $\pm 2.8\%$ になります。



- A** 右レンズシフトを最大にしたときの画面位置
B 左レンズシフトを最大にしたときの画面位置

上下の位置を合わせるには

コントロールキー(上/下)を押すと、レンズの中心から上下それぞれに、画面高さの最大6%分、投写画面を移動できます。



- A** 上レンズシフトを最大にしたときの画面位置
B 下レンズシフトを最大にしたときの画面位置

2 コントロールキー(上/下)を押して[レンズズーム]を選び、 \odot (決定)ボタンを押して確定する。

レンズズーム調整画面が表示されます。

次ページへ続く →

- 3** コントロールキー(上/下/左/右)を押して画面の大きさを合わせ、**Ⓢ**(決定)ボタンを押して確定する。

コントロールキー(上)またはコントロールキー(右)を押すと、画面は大きくなります。

コントロールキー(下)またはコントロールキー(左)を押すと、画面は小さくなります。

- 4** **Ⓜ**(メニュー)ボタンを押す。

メニューを終了します。

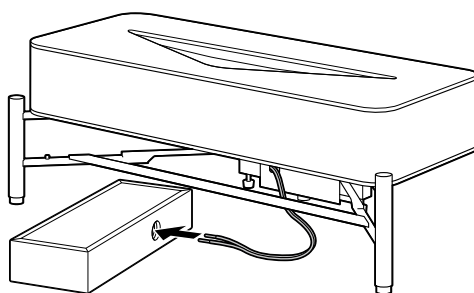
15 電源を切り、電源コードをコンセントから抜く

- 1** リモコンの**⏻**(電源)ボタンを押す。
- 2** メッセージが表示されている間にもう一度**⏻**(電源)ボタンを押し、電源を切る。
- 3** 電源コードを壁のコンセントから抜く。

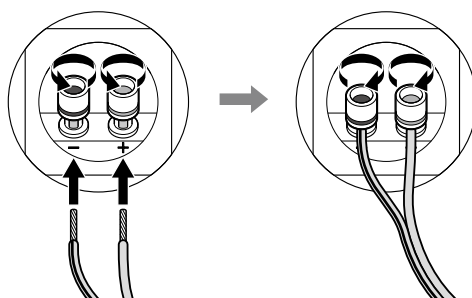
アース線もソケットから外してください。

16 サブウーファーを設置する

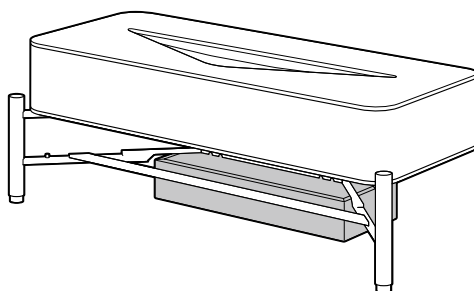
- 1** 背面から引き出したサブウーファー用ケーブル(付属)をサブウーファー(付属)の入力端子に接続する。



サブウーファー用ケーブルの黒い線があるほうを**⊖**側(黒)の端子に、もう一方を**⊕**側(赤)の端子に接続してください。



- 2** サブウーファーを床とフレーム中央奥(フレームのへこみ位置)の間に配置する。

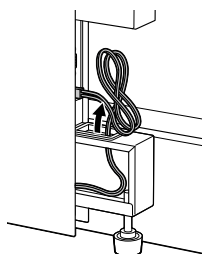


ご注意

- サブウーファーは本体奥のリアスタンド部に接触しないように設置してください。ノイズの原因となります。
- サブウーファー本体でサブウーファー用ケーブルを踏まないようご注意ください。
- フレームにサブウーファーをぶつけて傷つけないようご注意ください。

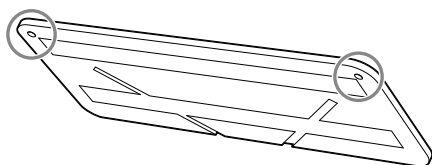
サブウーファー用ケーブルの余長の調節について

サブウーファー用ケーブルの長さを調節する場合は、リアスタンド内で調節してください。

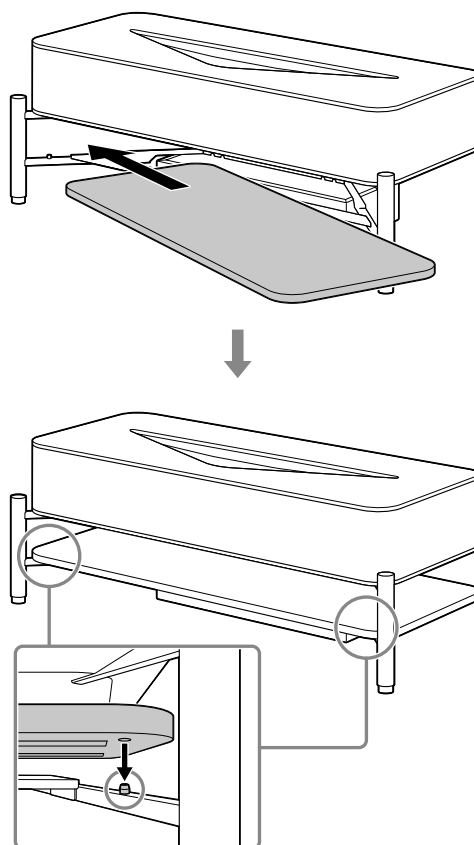


17 棚板を取り付ける

- 1 棚板の裏側を見て、左右に穴があるほうを手前にして持つ。



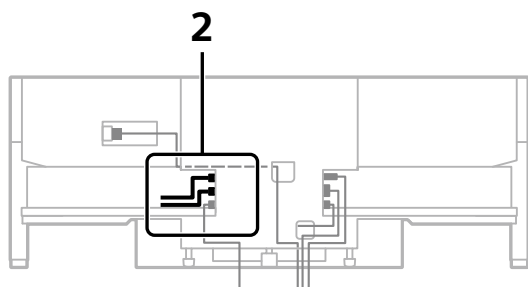
- 2 棚板を水平に保ったまま斜めの角度でフレームの上側に挿入し、棚板裏の穴とフレームの突起の位置を合わせて棚板を取り付ける。



ご注意

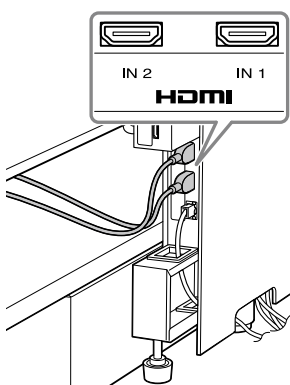
- 棚板を取り付けるときは、電源コードを棚板の下に挟まないようご注意ください。
- 棚板の裏側にあるフレームや切り欠きで、手を傷つけないようご注意ください。
- 棚板は重いので、運ぶときは足に落としたり腰を痛めたりしないよう、慎重に扱ってください。また、設置時に指を挟まないようご注意ください。
- 棚板は設置後も固定されていません。特に、左右奥に力を加えたり、重い物を載せたりすると、棚板が傾いて破損やけがの原因となることがあります。

18 HDMI機器を接続する



1 プロジェクターに接続するHDMI機器を準備する。

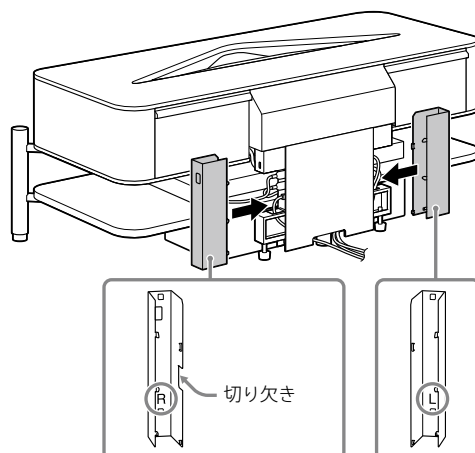
2 HDMI IN 1およびHDMI IN 2端子にHDMIケーブル(別売)を接続し、HDMIケーブルを棚板の上に出す。



3 HDMIケーブルを接続機器のHDMI出力端子に接続し、機器を棚板の上に配置する。

4 左右のスタンドカバー(L/R)を取り付ける。

HDMIケーブルはスタンドカバー(R)の切り欠きに通してください。

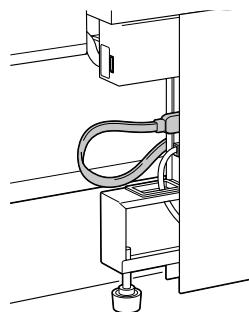


ご注意

- スタンドカバーを取り付けるときは、ケーブルを挟み込まないようにご注意ください。
- 棚板の耐荷重は12 kgまでです。それ以上の重さを棚板に乗せないでください。
- ゲーム機など消費電力が大きい機器を棚板に配置すると、機器からの放熱の影響により、本体のファンの回転数が高くなる場合があります。

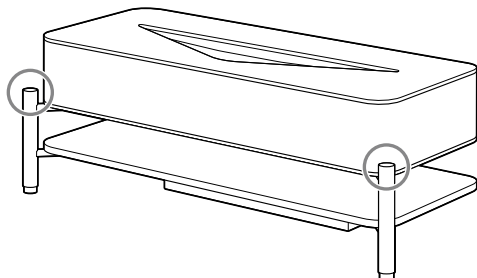
HDMIケーブルの種類について

フラットタイプのHDMIケーブルなど、曲がりにくいケーブルを接続すると、スタンドカバーを取り付けられないことがありますのでご注意ください。

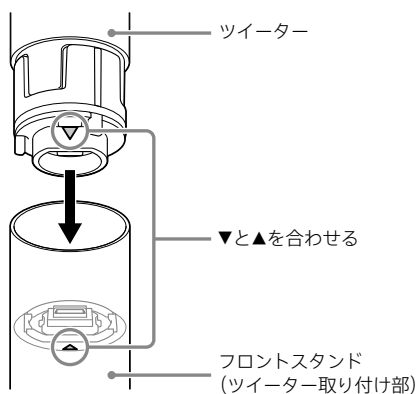


19 ツイーターを取り付ける

- 1 左右のフロントスタンド(ツイーター取り付け部)の袋を外す。



- 2 フロントスタンドの内側とツイーター(付属)の下部にある▲の位置を合わせて、ツイーターを差し込む。



ご注意

- ツイーターとフロントスタンドの間に手や指を挟まないようご注意ください。
- ツイーターのガラスが破損する恐れがあるため、取り付けるときに強い力を加えないようご注意ください。

20 電源コードをつなぎ、電源を入れる

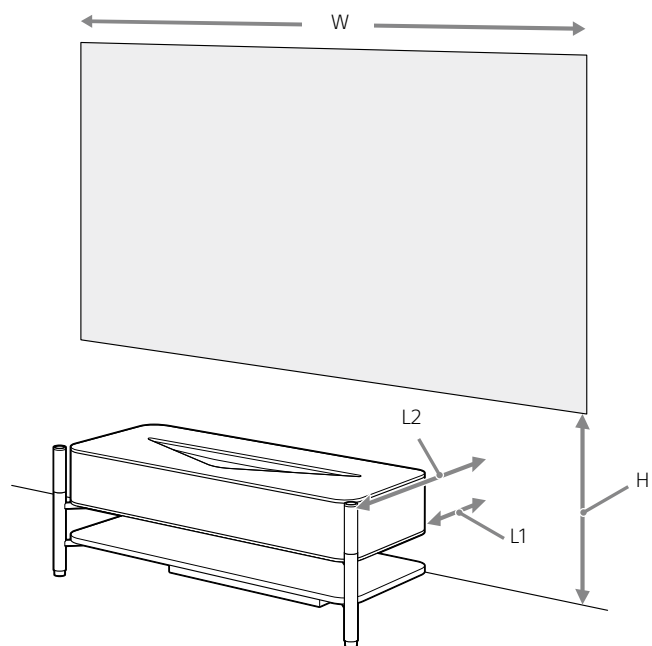
- 1 壁のコンセントにアース線を接続し、次に電源プラグを接続する(6ページ)。
- 2 リモコンの⏻(電源)ボタンを押して、電源を入れる。

設置後に本体を動かすときは

投写サイズを変更するなど、設置／接続後に本体を動かすときは、以下の点に充分にご注意ください。

- 必ず4人以上で、底面の持ち手部分をしっかりと持って持ち上げる。
- 絶対にツイーターを持たない。
- サブウーファーを引きずらない。
- HDMI機器が棚板から落ちないように注意する。
- ケーブル類を踏んだり、足に引っ掛けたりしないよう注意する。

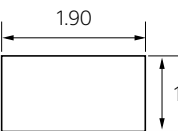
設置距離と画面サイズ



L1: 投写面から本体背面までの距離*
L2: 投写面から本体正面までの距離
H: 設置面から画面下端までの距離
W: 画面の横サイズ

* この場合の「背面までの距離」とは、本体背面のリアスタンド部ではなく、本体の天面の位置までの距離を指しています。

1.90:1(ネイティブフル表示17:9)投写時



画面サイズ			設置距離		画面シフト調整量		画面サイズ調整量	
対角D	横×縦	H	L1	L2	水平方向	垂直方向	水平方向	垂直方向
89 型	2.01 m × 1.06 m	64.9 cm	6.1 cm	54.6 cm	+/- 5.6 cm	+/- 6.3 cm	+/- 2.0 cm	+/- 1.1 cm
95 型	2.13 m × 1.12 m	66.3 cm	8.7 cm	57.2 cm	+/- 6.0 cm	+/- 6.7 cm	+/- 2.1 cm	+/- 1.1 cm
105 型	2.36 m × 1.24 m	69.2 cm	14 cm	62.5 cm	+/- 6.6 cm	+/- 7.5 cm	+/- 2.4 cm	+/- 1.2 cm
116 型	2.60 m × 1.37 m	72.1 cm	19.2 cm	67.7 cm	+/- 7.3 cm	+/- 8.2 cm	+/- 2.6 cm	+/- 1.4 cm
126 型	2.84 m × 1.49 m	74.9 cm	24.5 cm	73.0 cm	+/- 8.0 cm	+/- 9.0 cm	+/- 2.8 cm	+/- 1.5 cm

計算式1(画面サイズから設置距離を算出)

単位:cm

画面サイズ
$L1 = 0.2219 \times W - 38.4398$
$L2 = 0.2219 \times W + 10.0602$

計算式3(設置面から投写画面下端までの距離を算出)

単位:cm

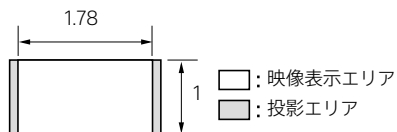
画面サイズ
$H = 0.1213 \times W + 40.5322$

計算式2(設置距離から画面サイズを算出)

単位:cm

投写面から背面部
$W = 4.5069 \times L1 + 173.25195$

1.78:1(16:9)投写時



画面サイズ			設置距離		画面シフト調整量		画面サイズ調整量	
対角D	横×縦	H	L1	L2	水平方向	垂直方向	水平方向	垂直方向
85 型	1.88 m × 1.06 m	64.9 cm	6.1 cm	54.6 cm	+/- 5.6 cm	+/- 6.3 cm	+/- 1.9 cm	+/- 1.1 cm
90 型	1.99 m × 1.12 m	66.3 cm	8.7 cm	57.2 cm	+/- 6.0 cm	+/- 6.7 cm	+/- 2.0 cm	+/- 1.1 cm
100 型	2.22 m × 1.24 m	69.2 cm	14 cm	62.5 cm	+/- 6.6 cm	+/- 7.5 cm	+/- 2.2 cm	+/- 1.2 cm
110 型	2.44 m × 1.37 m	72.1 cm	19.2 cm	67.7 cm	+/- 7.3 cm	+/- 8.2 cm	+/- 2.4 cm	+/- 1.4 cm
120 型	2.66 m × 1.49 m	74.9 cm	24.5 cm	73.0 cm	+/- 8.0 cm	+/- 9.0 cm	+/- 2.7 cm	+/- 1.5 cm

計算式1(画面サイズから設置距離を算出)

単位:cm

画面サイズ
$L1 = 0.2368 \times W - 38.4638$
$L2 = 0.2368 \times W + 10.0362$

計算式3(設置面から投写画面下端までの距離を算出)

単位:cm

画面サイズ
$H = 0.1295 \times W + 40.5190$

計算式2(設置距離から画面サイズを算出)

単位:cm

投写面から背面部
$W = 4.2226 \times L1 + 162.4247$

使い方相談窓口	
フリーダイヤル	0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話	050-3754-9577
修理相談窓口	
フリーダイヤル	0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話	050-3754-9599
※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。	

FAX (共通) 0120-333-389

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に

「203」+「#」

を押してください。
直接、担当窓口へ
おつながります。



4732086010

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1